

ふるさと 郷土の想いを再び

北口雄幸道議、「新春の集い」で2期目決意!

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356



溢れんばかりの来場

「北口雄幸道議と語る新春の集い」が、1月30日土別グランドホテルで500名の皆さんにご参加いただき、盛会に開催されました。まず、小貴会長が主催者を代表して挨拶。その後、来賓としてお越しいただいた牧野勇司土別市長、佐々木隆博代議士から激励のご挨拶をいただき、多くの仲間、道議から祝電も届き、北

お礼のご挨拶

1月30日に開催いたしました「北口雄幸と語る新春の集い」に際し、多くの皆さんのご参加をいただき、無事終了することができましたことに、心からお礼を申し上げます。

また、この集いの先立ち、記者会見を行い、2期目に向けた決意を述べさせていただきました。

今度とも変わらぬご支援をいただきますようお願いし、お礼と致します。

士別市後援会長 小貴勝太郎
北海道議会議員 北口 雄幸

2期目の決意

口道議の活動の幅広さが伺えました。

道北歌謡研究会から花束を受けた北口道議は、「日本の政治が替わり、政権が交代した。そして、土別でも牧野市長が誕生した。地方が元気になるには、基幹産

北口道議、2期目の決意

業の農業が元気にならなければならぬ。今年から米をモデルに戸別所得補償が始まるが、来年の本格実施に向け、北海道の声が反映

「元気な郷土創造宣言」をスローガンに、道議会に送っていた3年が経過し、この間地域の課題や頑張る皆さんの不安や不満などを肌で感じながら活動してきました。また、政権が交代し、佐々木隆博代議士が農林水産大臣政務官に就任するなど、その環境も大きく変わり、選挙区唯一の与党議員としてその責任の重さを痛感しています。ふるさととは、過疎化が止まらず、経済や雇用の悪化、地域医療の崩壊など、多くの課題を抱えています。

されるよう努力していく。そのためにも2期目に向け決意を新たにす。と、農業振興と2期目に向けた決意が示されました。

その後の鏡開きでは、各界の代表及び市町村長の皆さんとともに「今年1年の発展」を誓い合い、岡田久俊士別市議会議長の乾杯で祝宴に入り、締めめの音頭は、てしおがわ土地改良区理事長藤原敏正氏の三本締めで新春の集いを閉会しました。

新政権は、経済成長戦略の基本を「環境・健康・観光」と定め、この分野で百兆円規模の需要を見込み、この地方にとっても元気回復の原動力になるものと思っています。私は、来春の統一自治体選挙にあたり、後援会のご推薦をいただき、再び北海道議会議員として仕事ができるよう2期目に向け、立候補する決意をいたしました。今後とも変わらぬご支援をお願いし、2期目に向けての決意といたします。北海道議会議員 北口雄幸

第一回定例道議会報告(2月23日、3月24日)

平成22年第1回定例道議会は、2月23日から3月24日までの30日間の日程で開会されました。

今定例議会では、高橋道政任期最後の政策予算となる22年度道予算をはじめ、地方との協議が進まない支庁制度改革、悪化する雇用対策や地域医療の確保など、重要な課題が山積する議会でもありました。

民主党・道民連合は、代表質問、一般質問を通じて知事の政治姿勢や当面する道政課題など、高橋知事を

厳しく追求しました。

また、一般会計2兆8千181億円を含む新年度予

北口道議、一般質問で

農業と子育て、医療スタッフ確保を質問

北口道議は、3月9日の一般質問において、北海道の経済成長戦略について、持続可能な農業政策について、子育て支援について、女性医療スタッフの確保について、高橋知事の考えを質しました。

算については、予算の組み替え動議を提出しましたが否決されたため、採決では一般会計予算案には反対の結果として、自民党などの賛成により可決されました。

実施に向けた北海道としての提案では、「今年4月から

主要な畑作地帯のJAを通じて農家の経営状況の調査を行い、適切な時期に国に提案していく」との答弁がなされ、エゾシカ対策では、「国の機関やJAなど幅広い団体と連携し、協議会を設置し、被害防止に取り組み」との答えを引き出しました。

助産師の地方枠新設

また、医療スタッフの確保では、小規模自治体病院等へ実務経験豊かな看護職員を配置し、看護管理や看護内容を改善する仕組みを支援するためのシステム作りに着手することを明らか

にし、助産師の確保では、地方からの推薦入学制度の新設を検討する答弁を得ました。

幌加内が上川に編入

今議会での議論の争点となった支庁改革に伴い、4月1日から、14支庁が9つの総合振興局と5つの振興局に区分されます。

上川支庁は、上川総合振興局となり、新たに幌加内町が上川に編入することになります。

採択された決議・意見書

企業・団体献金の禁止等を求める意見書 教育予算の大幅な拡充及び高校教育の無償化を求める意見書 雇用対策の拡充を求める意見書 若者の雇用創出と新卒者支援の充実を求める意見書 児童虐待を防止するための親権制限を求める意見書 学校耐震化促進を求める意見書 医療的ケアの必要な子どもへの就学に係る地方自治体への支援を求める意見書 持続的な農業・水産業政策の確立を求める意見書 座礁船舶や漂着船舶の処理等に係る制度の早期確立を求める意見書 北海道農業の

発展に必要な生産基盤整備等に関する意見書 介護福祉士等修学資金貸付制度の拡充を求める意見書 独立行政法人雇用・能力開発機構が設置する地域職業訓練センターの機能存続に関する意見書 北海道教育への信頼を回復し正常化を求める決議 鳩山由紀夫衆議院議員並びに小沢一郎衆議院議員の「政治とカネ」にかかわる問題の全容説明と説明責任を果たすよう求める決議 小林千代美衆議院議員の議員辞職を求める決議 石川知裕衆議院議員の議員辞職を求める決議 鳩山由紀夫衆議院議員の偽装献金による所得税控除問題の真相解明を求める意見書 政治資金規正法の制裁強化を求める意見書 教育再生・教育の正常化の徹底を求める意見書 教育公務員特例法の早期改正を求める意見書 職員団体等の政治活動に関する法整備を求める意見書 新成長戦略に関する早期の工程表の作成及び今後政策を推進する上での財政展望の明示を求める意見書 漢方薬の保険適用除外に対する意見書 中国向け輸出水産食品の衛生証明書発行制度の改善を求める意見書

印は、民主党派が提案
自民会派は反対したが賛成多数で可決された。

印は、自民会派から提出されたものの、民主党派は反対したが、可決された。



一般質問で農業政策などを質問する北口道議(3月9日)

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



和寒町長選挙で伊藤昭宣氏の第一声(1/12)



元旦祭にて牧野市長、佐々木代議士と(1/1)



農水省のデイリーサポート土別視察に同行(2/8)



「ふるさとの集いin名寄」で締め音頭(1/24)



参議候補予定者「藤川雅司氏」とツーショット(3/7)



地域再生のモデル鹿児島県「やねだん」を視察(2/17)



参議候補予定者「徳永エリ氏」と記念撮影(3/17)



お世話になった谷口春三さんの退職送る会(2/25)



吹雪での「上川天幕」浮島IC間「開通式」(3/28)

道議会「国際交流の集い」でサープリン在札幌ロシヤ総領事と(3/10)



北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(1月～3月分)

1月2日【新春街宣】

今日の街宣行動は、佐々木代議士が道議や市議会議員など、民主党関係議員と旭川市内での街宣活動を終わってから、私は和寒町で佐々木代議士をお待ちし、和寒町、剣淵町、土別市内で3ヶ所の合計5ヶ所で行った冒頭、私から昨年の総選挙や土別市長選挙のご支援に対するお礼をお話しし、



佐々木代議士と雪の中の新春街宣

佐々木代議士から農林水産大臣政務官としての活動内容や今後の取り組む決意などを報告させていただいた。最後に私から、今年7月に行われる参議院議員選挙や4月に執行される土別市議会議員選挙へのご支援をお願いし、年頭街宣を終わらせてもらった。寒い中、わざわざ聞き入ってくれた皆さんに心から感謝したい。

1月15日【牧野市長と要請行動】

農業基盤整備事業の必要性について、土別市長とともに民主党北海道及び開発局に要請を行ってきた。土地改良事業の要望については、今年から土別市上土別町にて行われる農地



牧野市長と基盤整備を要請

再編事業などについて、その必要性を強く訴えることを目的に、牧野勇司土別市長と民主党北海道に出向き要請させていただいた。対応いただいた松井企画局長は「地域の意向をしつかり中央に届ける」との約束をされ、その後開発局にも同様の要請行動を行ってきた。

2月15日【北海道農連定期総会】

北海道農民連盟(山田富士雄委員長)の第37回定期総会が札幌市内のホテルで開催され、私も参加させていただいた。冒頭、山田委員長が挨拶に立ち「昨年は、冷湿害により被害を受けた1年だった。一方で、政権交代を果たし、



総会で挨拶する山田道農連委員長

農政改革に向けた第一歩を記した年でもある。新年度から、米をモデルに戸別所得補償制度が始まるが、23年度からの本格実施の制度設計に向け、しっかり意見を述べていきたい。また、基盤整備については、他の団体と連携し、この18日に

3月21日【全党員集会】

私が代表を務める民主党土別ブロック支部の全党員・サポーター集会を開催した。この集会では、今日までの市議選の選考経過や今後の闘いの進め方について意思統一させていただき、民主党公認2名と推薦3名の完全勝利のため、全党員・サポーターが火の玉になって戦うことを確認した。公認候補＝出合孝司氏、



土別市議選で必勝を誓う全党員集会

松ヶ平哲幸氏。推薦候補＝山居忠彰氏、伊藤隆雄氏、十河剛志氏。

【ひとこと】

今年は雪が多く、雪解けが遅くなりそうだ。長老にお話を聞いても、こんな年は珍しいらしい。先日、支庁制度改革に伴い、空知から上川へ編入される幌加内町を訪れ、森谷廣町長と意見交換した。幌加内町とはとにかく雪が多い。3月末での降雪量は約20mだという。参考までに私の住む土別は8mを超えた程度でこれでも多い方だ。実に幌加内は土別の2倍以上だ。厳しい地域に住む幌加内町民の逞しさを感じる。地域の元気を取り戻すには、そんな逞しさにヒントがあるのかしれない。(ゆうこう)